

平成20年度予算（案）の特色

一般会計

（予算編成方針）

平成20年度における本町の財政状況は、少子高齢化による福祉関係経費、公共施設管理運営経費の増加や、さらには公債費についても前年度を上回る費用を要するなど義務的経常経費が増加しており、財政構造の硬直化が一段と進んでいる。

このような中において、財政の健全性・弾力性を保持し、自立的に運営することができる行財政体質を早期に確立していくため、自律推進計画と集中改革プランにより、「選択と集中」を一層徹底し、見込まれる財源不足を全庁挙げて縮減に努める。

また、合併も視野に入れる中で、町の中心核づくりや産業立地の各施策についても、具体的な成果を示すことができるよう積極的な展開を図る。

（予算額）

一般会計の総額は、49億2,000万円となり前年度に比べ1億5,800万円の増、率にして3.3%の増となった。

これは、竜王中央地区での道路新設改良事業等のまちづくり交付金事業や後期高齢者医療制度施行等によるものです。

〔歳入〕

- ・ 町税は、法人町民税や固定資産税の伸び等により全体として9.2%の伸びとなった。
- ・ 地方消費税交付金については、総務省推計値から25%の減となった。
- ・ 地方特例交付金については、税源委譲に伴う住民税からの住宅ローン控除の実施に伴う減収補填のため、減収補てん特例交付金が創設され、81.8%の増となった。
- ・ 地方交付税は、4年連続で普通交付税不交付団体となる見込みで、特別交付税のみを計上した。
- ・ 国庫支出金は、まちづくり交付金事業の実施により、22.5%の増となった。
- ・ 県支出金は、「県財政構造改革プログラム」の影響等により、12.7%の減となった。
- ・ 繰入金は、財政調整基金からの前年度に引き続き繰り入れを行うこととした。
30.4%の減
- ・ 町債は、臨時財政対策債の他、まちづくり交付金事業実施のための町債発行にとどめ、3.3%の減となった。

[歳 出]

- ・ 議会費は、議員定数の減数により減少した。
- ・ 総務費は、篠原駅周辺都市基盤整備事業の推進費や電算機器基幹系システムの更新費および徴税徴集体制整備・充実等により増加した。
- ・ 民生費は、後期高齢者医療負担金や後期高齢者医療特別会計の操出金、早期療育のための発達支援室の設置、保育所運営費の増により増加した。
- ・ 農林水産業費は、日野川用水施設管理協議会負担金、国営造成施設管理体制整備促進事業費の減により減少した。
- ・ 土木費は、まちづくり交付金事業での町道歩道拡幅工事、下水道特別会計操出金の増により増加した。
- ・ 教育費は、中学校大規模改造事業の終了により減少した。

(主な事業)

まちづくりの夢をかなえる 7つの柱

「安心して暮らせる町土、即ち安全のまちづくり」

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| ・ 町防災計画作成事業 | 5 0 1 万 2 千円 |
| 地域防災計画見直し業務委託 | |
| ・ 小型動力ポンプ整備事業 | 1 2 0 万円 |
| 小型動力ポンプ 1 台 | |
| ・ 消火栓設置事業 | 4 0 万円 |
| 工事負担金 1 基 | |
| ・ 町防災訓練実施事業 | 6 1 万 5 千円 |
| 地域防災訓練資材費 | |
| ・ 防災資機材整備事業 | 1 2 0 万円 |
| 非常用食料品・水・資材を整備 | |
| ・ 小学校 A E D 購入事業 | 6 3 万円 |
| A E D 2 台購入 (竜小 1 台、西小 1 台) | |

「快適でうるおいのある生活環境づくり」

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| ・ 自ら考え自ら行うまちづくり事業 | 1, 2 7 0 万円 |
| 各自治会による地域生活環境整備事業補助、緊急対策枠 (遊具点検・修理) | |
| ・ コミュニティ助成事業 | 1 5 0 万円 |
| 小型動力ポンプ整備一式 | |
| ・ 公共交通対策費 | 1, 1 5 9 万 2 千円 |
| 生活交通路線維持費補助金、コミュニティバス運行委託補助金 | |

- ・篠原駅周辺都市基盤整備推進協議会費 4 4 7 万円
篠原駅周辺都市基盤整備推進協議会負担金・事業負担金
- ・浄化槽設置事業 2 5 2 万 1 千円
5 人槽 5 基、6～7 人槽 2 基
- ・道路橋梁維持補修費 1, 9 1 0 万 6 千円
町道鏡七里線歩道改修、鶉川渡り線渡り橋撤去等
- ・町単独道路橋梁改良工事 4 1 1 万円
町道山之上西岡屋線
- ・道路新設改良事業（まちづくり交付金事業） 1 2, 4 4 7 万円
町道西通り線・町道小口八重谷線歩道拡幅工事

「地域再生と活力を与えるたくましい産業づくり」

- ・地域資源活用調査事業 3 0 0 万円
地域資源活用調査委託料（まちづくり交付金事業）
- ・タウンセンターデザイン検討事業 4 0 0 万円
タウンセンターデザイン計画策定（まちづくり交付金事業）
- ・産業フェア開催事業 2 0 0 万円
第 1 1 回産業フェア補助金
- ・地域農政推進事業 4 0 7 万 6 千円
農作物ブランド化マーケティング調査委託他
- ・集落ぐるみ産地育成対策事業 4 1 7 万 1 千円
集落ぐるみ産地育成対策事業補助金
- ・2 1 世紀型農ビジネス推進事業 2 0 0 万円
特産品産地育成（野菜・果樹等特産品生産団地育成）、農用地面的集積
拡大、畜産育成、担い手育成、人と環境にやさしい農業（環境こだわり
米推進等）、集落型経営体の農業法人化への支援、景観形成作物推進
事業のメニュー方式による報奨金制度
- ・畜産振興事業 1 6 0 万 3 千円
「近江牛のふる里」看板設置、ポスター制作費
- ・農林公園施設管理事業 2, 4 2 8 万円
公衆トイレ・駐車場設計業務、進入路整備、施設指定管理料
- ・農村総合整備事業 6, 6 8 7 万 7 千円
広域圏域型（蒲生・竜王地区）
農道整備（舗装）、集落排水路整備

- ・農地・水・環境保全向上対策事業 1, 519万9千円
共同活動支援・営農活動支援
- ・小口簡易資金融資事業 1, 523万5千円
小口簡易資金預託金 1, 230万円、利子補給
- ・着地型旅行観光活性化プロジェクト事業 314万1千円
地域特性を活かした付加価値の高い観光プログラムの企画
- ・地域産業研修センター内外裝修繕事業 200万円

「健やかに暮らせる健康福祉と子育て支援づくり」

- ・障害児ホリデーサービス事業 217万5千円
夏季・春季休暇期間中の創作的活動、機能訓練等を通して自立促進
- ・社会参加促進助成事業 484万1千円
障害者等の日常生活における社会参加促進のための交通手段の確保のためのタクシー運賃、ガソリン費助成
- ・相談支援事業 690万5千円
町障害者生活支援センター設置、東近江圏域共同事業委託
- ・手話通訳者派遣事業 144万7千円
手話通訳者の派遣サービス
- ・障害児地域活動支援事業 102万8千円
障害児学童クラブ（どんぐりクラブ）への運営補助
- ・障害者自立支援緊急特別対策事業 519万8千円
障害者自立支援法への円滑な移行のための利用者・事業者への支援、障害者等支援用備品
- ・成年後見制度利用支援事業 15万円
成年後見人等報酬、審判請求手数料を支援
- ・敬老のつどい開催事業 250万円
敬老のつどい開催事業補助金、実施については各自治会単位
- ・介護保険事業計画等作成事業 404万9千円
介護保険事業計画・老人保健福祉計画の見直し（計画策定）
- ・心身障害児通園事業 361万2千円
心身障害児通園センター「ひかりの子」に事業委託
- ・放課後児童健全育成事業 920万9千円
西っ子児童クラブ（西小校区）、まっぼっくり児童クラブ（竜小校区）に事業委託

- ・児童クラブ傷病児等休憩室設置工事 300万円
まっぼっくり児童クラブの施設拡張（竜王小学校）
- ・福祉年金支給事業 409万7千円
母子、父子、心身障害児福祉年金 月額3,000円
- ・発達支援事業 38万円
障害児の早期発見、早期療育のための発達支援員の配置（人件費別）
- ・児童環境づくり基盤整備事業 203万5千円
次世代育成支援ニーズ等実態調査業務委託
- ・少子化対策・子育て支援事業 839万5千円
地区公民館等を活用した地域子育てサロンの実施、こどもひろばの開設
（親子が集える場）、出産祝金の支給
- ・母子保健事業 601万1千円
乳幼児・妊婦健診（回数の拡充）、家庭訪問、不妊治療費助成

「新しい時代を拓く魅力ある場づくり人づくり」

- ・ふるさと竜王夏まつり 250万円
実行委員会補助
- ・スーセーマリー市中学生交流受入事業 96万9千円
姉妹都市アメリカ スー・セー・マリー市より中学生を受入（12名）
- ・小学生国内地域間交流事業 83万6千円
小学生を北海道雨竜町へ派遣（11名）
- ・児童・生徒教育相談カウンセラー設置事業 74万1千円
集団不適応、不登校、発達に関する教育相談
- ・心のオアシス相談員派遣事業 100万円
小・中学生の悩み相談（年間200回）
- ・小学校校舎電気設備改修事業
竜王小学校電気設備改修 2,175万3千円
竜王西小学校電気設備改修 506万1千円
- ・小学校教育用コンピュータ整備事業 679万9千円
パソコン教室コンピュータリース代等
- ・ケア・サポーター派遣事業 35万6千円
小学校へ大学生を派遣（年間80回）
- ・中学校施設整備事業 210万円
中学校体育館入口庇修繕

- ・ 中学校コンピュータ整備事業 3 8 5 万 4 千円
パソコン教室・普通教室用コンピュータリース代等
- ・ 竜王幼稚園総合遊具等整備 3 5 0 万円
総合遊具購入・FF式暖房機更新
- ・ 社会教育関係団体補助事業 4 9 1 万 3 千円
青少年育成町民会議40周年事業分を拡充
- ・ 学校5日制に向けた様々な体験活動促進事業 1 6 1 万 8 千円
アドベンチャー事業（ブルー、ゴールド、ホワイト）、通学合宿（小中学生対象）、障害児週末体験活動
- ・ 交流地まち倶楽部育成事業 4 0 万円
まちづくり活動団体支援補助金
- ・ 図書館図書購入 6 1 8 万円
ブックスタート事業（18万円）
- ・ 生涯スポーツ推進事業 1 1 4 万 5 千円
全国スポーツレクリエーション祭実行委員会補助金等
- ・ 社会体育施設建築事業 5 7 0 万円
武道交流会館建築工事設計業務（まちづくり交付金事業）

「生活を高める個性豊かな薫り高い文化づくり」

- ・ 農村運動広場照明器修繕工事 1, 0 0 0 万円
（まちづくり交付金事業）
- ・ ドラゴンハット採光窓改善事業 5 0 0 万円
（まちづくり交付金事業）
- ・ 公民館コンバージョン事業 2 0 0 万円
公民館コンバージョン基本設計業務（まちづくり交付金事業）
- ・ ふるさと文化振興事業 1 2 3 万 4 千円
文化祭実行委員会補助、文化団体育成補助
- ・ 公民館教室・講座開設事業 2 2 7 万 8 千円
各種教室（子ども、一般、女性、青年、高齢者対象）
- ・ 文化財保存活動事業 3 9 5 万 3 千円
文化財保存事業補助（苗村神社）
- ・ 文化財普及啓発事業 2 6 5 万 9 千円
散策マップ、遺跡リーフレット、展示パンフ、文化財案内標識の作成
公開講座の開催、歴史体験学習

「第4次竜王町総合計画の推進と効率的な行財政改革の執行」

- ・ 人事評価制度導入事業 34万8千円
職員研修、先進地研修
- ・ 職員一般研修事業 168万9千円
新任研修、職階別研修、担当者研修他
- ・ 電算機器基幹系システムリプレースリース等 4,282万6千円
基幹系電算システム更新
- ・ 地域創造まちづくり事業 145万6千円
町まちづくり委員会設置
- ・ 行政経営改革推進事業 31万5千円
行財政改革推進委員会、自律推進計画管理委員会

その他

- ・ 総合庁舎維持修繕事業 234万円
総合庁舎自動ドア修繕、身体障害者用便所ストマ洗浄器設置工事
- ・ 公用自動車購入事業 476万円
- ・ 町勢要覧編集事業 300万円
- ・ 町長選挙費（6月） 736万2千円
- ・ 農業委員選挙費（7月） 488万5千円